

うじたわら

議会だより

No. 108

2021.8.1

6月定例会 一般会計補正予算を可決 2p

町政ズバリ聞く (一般質問)
インタビュー (高橋一樹さん)

3p~12p
13p

＝宗門生家での語らい＝
色とりどりのあじさいに
囲まれて

一般質問

ズバリ！ 町政を問う

6月8日
～9日

一般質問とは、議員が行政全般にわたって執行機関である町に対し、事務の執行状況や方針などを質問します。
主な内容について、各議員の要約原稿を掲載しています。



	質問者	質問事項
1	今西利行 (4p)	1. 小中学校施設一体型について 2. コロナ禍における子供へのケアについて 3. 防犯対策について
2	榎木憲法 (5p)	1. 交通安全対策について
3	宇佐美まり (6p)	1. 観光によるまちづくりについて
4	山内実貴子 (7p)	1. 防災・減災対策について 2. 奨学金返還支援事業の推進について
5	藤本英樹 (8p)	1. 都市計画について 2. 防災対策について

	質問者	質問事項
6	上野雅央 (9p)	1. デジタル化の推進と行政サービスの向上について
7	山本 精 (10p)	1. 新型コロナウイルス感染症対策について 2. 防災対策について
8	森山高広 (11p)	1. IT&DX推進課の設置について 2. ベンチの設置による健康と観光の環境改善について
9	馬場 哉 (12p)	1. 重大事件等調査について

傍聴のご案内

宇治田原町議会を傍聴しませんか。傍聴券は本会議・委員会当日に町役場3階議会事務局で発行致します。議会の日程などはホームページ(<http://www.town.ujitawara.kyoto.jp/>)をご覧ください。議会事務局(☎88-6641)までお問い合わせください。

6月 定例会

子育て生活支援等の追加 一般会計補正予算を可決

一般会計補正予算
(議案第36号)
対象者への周知方法は
問 子育て世帯生活支援
特別給付金給付事業費に
ついて、その他の対象者

予算特別委員会

問 住宅開発地から町道
1の30号線付近の住宅に

付近の住宅への
降雨対策は

町道路線の認定
(議案第40号)
住宅開発により町に
帰属した道路につい
て、町道1の62号線に
認定するもの。

総務建設常任委員会

令和3年第2回定例会は、6月3日から17日まで開催した。予算
関係1件(補正予算)、条例関係3件(改正2件、専決1件)、一般
議案1件(道路認定)が提出され、原案通り可決・承認した。
また一般質問には9人の議員が登壇した。

は申請にもとづきとある
が、その他の対象者の範
囲と周知方法は。
答 児童手当等の台帳が
ある方々は、申請なしで
非課税であることを確認
して給付する。児童手当

対する降雨対策と、想定
外の降雨への対応は。
答 住宅開発区域の雨水
排水については、雨量計
算を行い側溝の断面が計
画されており、計算上は
溢れない計画となってい
るものの、想定外の降雨
で側溝が溢れるような場
合は、何らかの対策を講
じていきたい。



町道1の62号線

の対象でない高校生世帯
保護者の非課税世帯や、
コロナにより家計が急変
した方々も対象となり、
町広報紙や町ホームページ
で周知していく予定で
ある。

議決のあらましと表決結果

[○賛成・●反対・▲退席・一欠席・△除斥]

種別	議案番号	議案名と内容	賛成討論	反対討論	結果	浅田	原田	宇佐美	山本	山内	上野	藤本	森山	馬場	榎木	今西
予算	議案第36号	一般会計補正予算(第1号) (子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費等の追加) 【1,650万円追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例改正	議案第37号	宇治田原町自治功労者表彰条例の一部を改正する条例を制定するについて (対象者や必要年数等の見直しに伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第38号	宇治田原町税条例等の一部を改正する条例を制定するについて (法律の改正に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第39号	宇治田原町税条例の一部を改正する条例制定の専決処分について (法律の改正に伴う条例の一部改正)			承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	議案第40号	町道路線の認定について (大字南地内、町道1の62号線の認定)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◎谷口議長は賛否同数以外は表決に加わりません

なぜ「一体型」に固執するのか

【答】施設一体型が最も効果的

【質問】

政府は40年ぶりに35人学級に踏み込んだ。分散登校では「人数が少なくて良かった」という声が教師や子どもたちから上がった。いまの流れは大規模校や過大学級より、小さな学校、少人数

学級である。なぜ、一体型に固執するのか。

【答弁(学校教育課長)】

教育的視点や長年の協議経過から、一体型が最も効果的と考えている。

【質問】

コロナの問題がおき、文科省が人数を見直し、

大学などによる一貫校についての検証結果も明らかになってきた中

で、どう効果的なのか。

【答弁(教育次長)】

平成29年3月議会で報告した通り①小中一貫教育②児童数③地域の視点から総合的に判断した。

【質問】

説明会での住民の声



今西利行
議員

や、2千筆近い「計画の白紙を求める要望署名」を見れば、住民合意が得られているとは言えない。教育長の認識は。

【答弁(教育長)】

今後も考え方や方向性を示し、意見を聞いていきたい。これまでの説明、協議の中で合意形成は得られている。

「コロナ禍」で子どもたちの実態は

【答】不調などの報告は受けていない

【質問】

コロナ禍が長引く中、全国的に、心の問題でうつ症状など子どもたち様々な事象が起きてい

る。本町の実態は。

【答弁(学校教育課長)】

本町では、体調を崩したり、心身の不調を訴える子どもたちの報告は受けて



伝統ある田原・宇治田原小学校

生活道路・通学路への交通対策は

【答】交通マナー向上の徹底をはかる

【質問】

朝の国道307号の、東行き渋滞回避のため、工業団地への通勤の車両に、約220台の車が

が、町道郷之口鷲峰山線、及び町道郷之口湯屋

谷線を朝7時から9時の間に、

利用されている。この町道は、立川区地域住民の生活道路として活用され

ているが、車の離合難に加え歩道なき通学路でもある。加えて今後、新市街地における新企業誘致に伴う新たな渋滞問題の懸念、地域住民の高齢化の現状もある。このよう

な状況下、通勤車両の交通マナー向上が必要では。

【答弁(総務課長)】

当該町道は生活道路・通学路として重要な路線の1つと認識している。

これまでからも地元区やPTA、工業団地管理組合等の協力を得て交通



榎木憲法
議員

マナーの向上を図る取り組みを行ってきた。今後についても、交通

マナーの徹底について、企業や事業所への働きかけを引き続き行っていく。

【質問】

平岡公民館からうぐいす幼稚園入口の十字路までの間は、危険箇所とされている。カーブミラーも設置されているが、運転手の目線の高さで訴えるモノ、例えばハートマークを活用して、図案化した絵図など、視覚に訴えるようなモノを設置しては。



国道307号の朝の渋滞

いない。

【質問】

不調が現れてからでは遅い。アンケート等で、子どもたちのストレスや

小さな変化をきめ細かにつかむことが必要では。

【答弁(学校教育課長)】

子どもたちへの調査もツールのひとつである。

防犯録音装置に補助を

【答】普及啓発に努める

【質問】

固定電話による特殊詐欺被害が後を絶たず、本町でも被害があった。通話を録音する等の防犯機能のついた電話機が有効な手段であり、購

入に補助を。

【答弁(総務課長)】

防犯機能付電話機の購入補助は、防犯協会と電気商業組合が実施されており、普及啓発に努める。



特殊詐欺に注意を促す啓発チラシ

【答弁(総務担当理事)】

当該町道については、狭く朝夕の通行車両が多いことから、これまでも通勤車両の国道307号への走行呼びかけや交通安全啓発看板等の設置を行ってきた。引き続きこ

れらの取り組みを進め、狭隘で危険の恐れがある箇所には、啓発看板や電柱幕等を設置している。さらに、運転者の視覚に注意や減速を促す路面へのイメージハンプ等の設置を検討する。



車の離合も難しい通学路

観光によるまちづくりは

【答】歴史的・文化遺産を活用していく

【質 問】

歴史的遺産などを活かした景観形成や、歴史・文化を感じられる拠点の配置等の取り組みにおいては発信力に弱さを感じる。本町には数多くの歴

史・文化遺産が残されて

いるが、活用方法は。

【答 弁】（産業観光課長）

道路ネットワークが整備されることにより、人の流れも大きく変わるこ

化的資産を、今後より一

層積極的に情報発信し、

人を呼び込み、地域のに

ぎわいを生み出す観光資

源として、活用していく。

【質 問】

町の歴史的財産と言え

る禅定寺は、国の重要文

化財が安置されており、

歴史的資産が数多く残さ

れている。また、猿丸神

社は百人一首で有名な歌

を詠んだ猿丸大夫を御祭

神としており、月次祭は

町民の生活に浸透してい

る。他にも町内には多く

の寺社仏閣があるが、本

町の歴史的文化財の保存

についての考えは。

【答 弁】（教育次長）

文化財が地域振興、観

光振興などを通じて地方

創生や地域活性化にも貢

献することも考え、未指

定を含めた文化財を総合

的に把握するとともに、

まちづくりに活かしつつ、

適切な保存と活用がお互

いに効果を及ぼし合いな

がら、その継承に取り組

みたい。

【質 問】

禅定寺には、日本文化

に囲まれた中で、ゆった

り時を過ごすことができ

る喫茶店も併設され、観

光スポットとして位置づ

けでざる施設がある。

また、本町の特産品と



宇佐美 まり
議員

して干し柿の一種「古老柿」があり、柿を干すための「柿屋」は、初冬の風物詩となる。地域ブランドを生かし、魅力的で誰もが訪れたいくなるまちづくりの考えは。

【答 弁】（副町長）

歴史や文化、また地域

住民のおもてなしの心など、本町にしかない強み、地域ブランドを効果的に活用していく中で、関係機関とも連携し、本町を訪れたいと動機づけできる内容の精査や発信の方法に研究を重ねている。



ゆったり過ごせる喫茶店（禅定寺）

避難所備蓄品に女性用品は

【答】女性の意見やニーズ等踏まえ備蓄

【質 問】

女性の視点からの災害対応が、防災や減災、災害に強い社会の実現にとって必須とある。男女共同参画の視点から、避難所運営や備蓄品についての取り組みは。

【答 弁】（総務課長）

男女双方の視点やニーズに配慮し、避難所運営においては、女性職員の配置に努めている。備蓄品には、乳幼児の哺乳瓶やミルク、また紙おむつ等を加えた。新型コロナ

対応としてパーテーション等の配備も行っている。

【質 問】

女性用品の備蓄は。

【答 弁】（総務課長）

現在備蓄できていないが、女性の意見やニーズ

等も踏まえ、今後各避難

所に備蓄していきたい。

【質 問】

男女双方からの意見の反映が必要である。防災を考える上で、町防災会

議に女性委員の登用を。

【答 弁】（総務担当理事）

女性委員の推薦を企画

機関にお願いするなど、

引き続き調整、検討して

いきたい。



山内 実 貴 子
議員

取り組みが始まっていると認識している。

【質 問】

この支援制度は、若者への経済支援にとどまらず、子育て環境の充実等、定住促進にもつながり、中小企業などの人材確保・人材定着にもつながる。国からの財政支援もあるこの制度の導入は。

【答 弁】（副町長）

ニーズや事業効果も見

定め、国の制度の趣旨、

また民間、京都府の動向

等も含め、研究を進める。

【質 問】

民間事業者が、人材確保策として行う返還支援に対して助成を行う、京都府就労・奨学金返済一体型支援事業の周知、企業への働きかけを。

【答 弁】（町長）

本町においても、数軒の事業者がこの制度を導入されている。次代を担う若者が、地域の未来を照らす存在となれる育成・支援制度を、関係機関とも連携しながら広報・周知に努めたい。



防災備蓄倉庫（田原小）

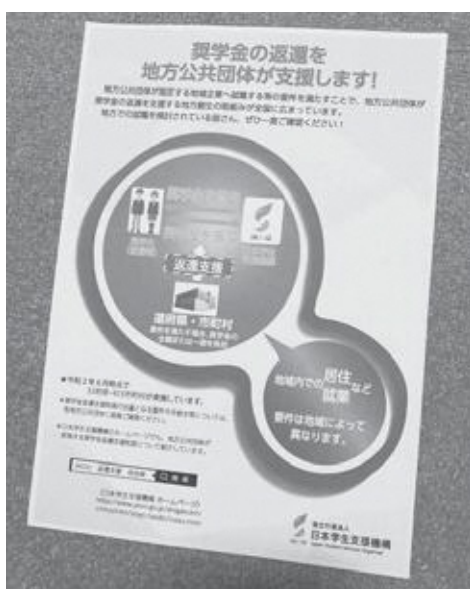
奨学金返還支援への取り組みは 【答】ニーズ等見定め研究する

【質 問】

全国各地で若者の奨学金返還支援への取り組みが広がっている。このような取り組みについての認識は。

【答 弁】（学校教育課長）

コロナ禍が拍車をかけ、大きな負担となっている奨学金返済について、全国的に、地方公共団体での返還支援制度の



奨学金返還支援チラシ

一般質問

山手線全線開通への思いは

【答】政治生命をかけて進めていく

【質問】

山城北土木事務所管内
令和3年度予算に、宇治
田原山手線関連の整備予
算が発表された。

山手線全線開通に向け
て、町長の気持ちは。

【答弁(町長)】

知事より「山手線未着
手区間についても切れ目
なく整備を進める。」と府
議会で答弁をいただき、
事業着手に向けた準備調
査費を計上いただいた。



藤本 英樹
議員

長年、公約として掲げ
てきたことが現実的に
なってきたことに對し、
ご尽力いただいている方
に感謝を申し上げます。

今後とも全線開通に向
け、粉骨砕身、政治生命を
かけて進めていきたい。

【質問】

国・府・市・町道の道
路ネットワークの形成は、
災害に強いまちづくりの
基盤ができあがり、住民

の安心安全にもつながる
が、その他にどのような
効果が期待できるのか。

【答弁(町長)】

滋賀や大阪、奈良への
アクセスが格段に向上す
る。高速道路へのアクセ
スと合わせて山手線の役
割は非常に大きい。物流
関係などの企業を誘致す
ることで、税増収にもつ
ながり、住民へも還元で
きると期待している。

警報レベル変更 周知徹底を 【答】あらゆる機会を通じ周知に努める

【質問】

5月20日から21日にか
けて梅雨前線の影響で大

雨が降り、万が一に備え
て自主避難所が開設され
たが、どのような考えで



避難指示で必ず非難を (www.bousai.go.jp)

開設されたのか。また、
自主防災組織の待機状況
は。

【答弁(総務課長)】

自主避難者への対応と
して開設した。各地区自
主防災会では、町と歩調
をあわせる形で公民館を
開設された地域もあつ
た。

【質問】

5月20日には改正災害
対策基本法が施行され、
避難勧告と避難指示が一
本化されるなど避難情報

の見直しがなされた。今
回の見直しをどのように
周知していくのか。

【答弁(総務担当理事)】

従来の避難勧告の段階
で避難指示を発令するこ
ととなり、避難せずに被
災される方を少なくする
ような運用に改善され
た。

本町のICT推進の考え方は

【答】デジタル化推進に努める

【質問】

国が昨年示した「デジ
タル社会の実現に向けた
改革の基本方針」では、
官民のデジタル化推進に

向け、9月にデジタル庁
が創設される。
電子申請やテレワーク
勤務、オンライン会議な
ど、利便性と行政サービ



上野 雅央
議員

スの向上を目的とした効
率化の波が押し寄せよう
とする中、ポストコロナ
社会での住民対応など、
町としてICT推進の考
えは。

【答弁(総務担当理事)】

本町では、府内自治体
で構成する自治体情報化
推進協議会の共同化シス
テムを導入し、行政シス
テムの向上に取り組ん
できた。

テレワーク勤務・オン
ライン会議等のICT推
進は、感染症対策にも有
効なりモートパソコンを
使用した在宅勤務やオン
ライン会議に取り組んで
いる。

今後京都府や府内自
治体と情報共有のもと、
デジタル化を推進し、住
民サービスの向上に取り
組む。

【質問】

デジタル化の進展は住
民の利便性向上が目的で
あり、活用上格差を生む
ことがあってはならな
い。

パソコンやスマート
フォンなどのデジタル機
器操作で、高齢者や不慣
れな住民の方々が無理な
く活用できるサポートの
仕組みなど、町として適
切な支援ができないか。

【答弁(総務課長)】

内閣府の世論調査では、

70歳以上の高齢者の約6
割が、「スマートフォンな
どの情報通信機器を利用
していない。」という結果
ながらも、コロナ禍で社
会が変容し、国はデジタ
ル化を加速させようとし
ている。

そのため、情報機器が
使えるかどうかで、生活
の質に格差が生じること
が危惧されている。

政府が掲げる「誰一人
取り残さない、人に優し
いデジタル化」の達成に
向け、国の動向を注視し、
高齢者等のニーズを把握
する中で、情報機器の必
要性、利便性の啓発とパ
ソコン・スマートフォンの
利用方法が学べる機会の
提供など、適切な支援に
努めていく。



過去開催のスマホ教室の様子

一般質問



議員のオンライン会議勉強会

一般質問

ワクチン接種の進捗は

【答】64歳未満も実施の準備を進める



山本 精
議員

【質 問】

高齢者の新型コロナウイルスワクチンの集団接種が、住民体育館で5月16日から始まっている。政府は、7月中には高齢者接種を終了するように言っているが、本町の状況は。

【答弁(健康福祉担当理事)】

町医や綴喜医師会八幡班の先生方から多大な協力をいただき、高齢者の接種は7月中に終わる見込みである。

【質 問】

64歳以下で基礎疾患を

持っている方、一般の方

などの接種についてどう

【質 問】

新型コロナウイルス感

染症対策には、無症状感

染者による感染拡大が問

題になっている。集団生

活をしている小中学校施

設などでの検査拡大が必

要では。

【答弁(学校教育課長)】

小中学校では、予防として、登校前の検温、手洗い、手指消毒、マスクの着用、3密の回避などの基本的対策を取り、コロナ禍における安心安全な学校づくりに努めている。クラスターなど起こっていない状況では、検査を実施せず、基本的な感染症対策に取り組む。



新型コロナワクチン接種を待つ住民の方々

※ IT&DX推進課の設置を

【答】専門部署の新設は難しい



森山 高 広
議員

【質 問】

デジタル先進国といわれるオランダ、台湾、エストニア等の自治体に行っているITでも、日本は相当な差をつけられている。本町のホームページは

次にトップ層の熱意の

なさど現状認識の甘さで

ある。ITやDXが道路

以上に重要になり、道路

を作っただけではどうに

もならない時代になって

いる。これらを解決する

にはIT&DX推進課の設

置をするしかないのだ

は。

【答弁(総務課長)】

現在、山手線をはじめとした今後のまちづくりに必要な基盤整備の推進中である。

人口減少や新型コロナ

対策などに対応するため、より効率的な組織体

制の構築が必要で、IT

やDXの専門部署の新設

は難しい。今後も職員の研修や効果的な人員配置に努めていきたい。

【質 問】

手っ取り早く遅れを取

り戻すためには、専門家・

技術者を多く雇用する必

要がある。そこでは人材

の取り合いが起こり、外

注するにも先進知識がな

いと適切なことはできな

い。国内外の先進地での

IT&DX推進課の役

割・運用等を研究しては

どうか。

【答弁(総務担当理事)】

将来を見据えた貴重な提言と受け止め、今後の組織運営、人材育成等の参考にする。

伐採地の防災対策は

【答】近隣に影響を及ぼさないよう指導

【質 問】

5月20日から21日の豪雨で、土砂崩れなどの被害が出ている。

【答弁(建設事業担当理事)】

時間最大雨量が29ミリ、24時間157ミリの豪雨であった。小釜地域については、通学路の補強工事を行い、伐採地内に水路や沈砂池を設置し、近隣農地等に影響を及ぼさないよう工事の指導をしている。



通学路路肩崩壊現場

健康・観光用にベンチを

【答】必要性や可能性について考えたい

【質 問】

店舗、個人宅に健康増

進や観光推進のため、自

由に座れるベンチを置いて

もらうのはどうか。

【答弁(産業観光課長)】

ベンチの設置について

は、他府県の事例や取り

組みを参考にし、本町で

の実施の必要性や可能性

について考えたい。



田原川沿いの休憩所

※DXとは、進化したIT技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革させるという概念。

一般質問

地域おこし協力隊

た か は し か ず き
高橋 一樹 さん

3代目地域おこし協力隊として、本町に着任された高橋一樹さんにインタビューしました。



Q. 簡単に自己紹介を

A. 和歌山県橋本市出身で、大学を卒業し、3月から地域おこし協力隊として、宗円交遊庵やんたんの運営支援をしています。

Q. 地域おこし協力隊になられた理由は

A. 学生時代、3つの法人でインターン業務を経験し、「自分らしい生き方とは何か。」と考えていた時に、地域おこし協力隊にご縁があり、応募させていただきました。



商品説明をする高橋さん

Q. 宇治田原町の第一印象は

A. 初めて宇治田原町に来た日、高尾の夜景スポットを案内いただき、その時の光景が目に残っています。そういった、あまり知られていないまちの魅力をたくさんの方に知ってもらえる機会を作りたいと思います。

Q. 宇治田原町でチャレンジしたいことは

A. 私の物事の判断基準は、面白いかどうかということが多いです。なので、町の方々と、「これは面白い!」と思えるようなことで、地域おこしにチャレンジしたいです。町の人と楽しみながら、地域を盛り上げるお手伝いができればと思います。

Q. 将来の夢は

A. 多くの人に、日々抱えている煩雑な物事を一旦忘れ、遊び心と好奇心で動くことができる時間を届けられたらと思っています。ワクワクすることの豊かさを感じてもらえる事業を、地域の方々と一緒におこしたいと思っています。



第三者委員会の様子

【質問】
事件後、町長は「徹底して原因究明をはかり、ウミを出し切る」と発言している。新聞報道では「他職員関与の可能性も」と書かれているが、その事実関係を説明してこそ、ウミを出し切ることはできないのか。
【答弁(町長)】
犯罪に及ぶような他職員関与の可能性はないと考えている。第三者委員会に徹底的に調査していただき、改めていきたい。

【質問】
点の洗い出しを行い、改めて職員のコンプライアンスの徹底、内部通報制度への認識も大事だと考える。今後の取り組みについての考えは。
【答弁(町長)】
組織として守秘義務が甘かったということは紛れもない事実。今後、職員のコンプライアンスの徹底により、職員一人ひとりが公務員としての立場を改めて認識し、法令に基づき、適正に職務を遂行することで行政への信頼回復につなげていく。

【質問】
他自治体では、不正に断固として立ち向かう組織文化の形成と、全職員がコンプライアンス意識を高め行動するため、職員倫理に関する住民への誓いを明文化した、「職員コンプライアンス宣言」を策定し、公表されている。本町での宣言の公表についての考えは。

【答弁(町長)】
コンプライアンス宣言を行うことは、全職員が意識を高め、二度と不祥事を起こさないことを決意する旗印になるとともに、行政に対する住民の信頼回復につながるから、非常に有効な手段の一つと考えている。

【答】有効な手段の一つと考えている

コンプライアンス宣言の公表は



馬場 哉 議員

【質問】
起訴事案の件以外に、設計金額を教示したとする4件の入札のうち2件については、元理事が設計金額を自ら知りえる立場にないと考えるが。

【質問】
証言が取れているわけではないが、担当部署からの聞き取りや設計金額を記載した書類を閲覧する等によるものと推察している。



事件を伝える新聞と委員会資料



ワクチン接種会場にて



荒木キッズ防火隊



あいさつ運動（中学校）

まちがど
点景

6月28日開催の近畿府県町村議会議長会会長会議において、本町の谷口整議長が副会長に就任しました。

次回議会の予定

〈9月定例会〉

9月6日(月)開会日

詳しい予定はHPにてお知らせします。

編集後記

宇治田原町の蛸は、今年も変わらず、その光を悠々と放ち、私たちの心に希望の光を届けてくれました。

コロナ禍の中、ワクチン接種は感染拡大をくい止める希望の光となっています。住民の皆さんの安心安全のため、円滑なワクチン接種に懸命に取り組んで頂いている方々への感謝を忘れず、一人ひとりがさらに心を引き締め、感染予防に努めていきたいと思っています。

さまざまな困難を感じる毎日でも、希望をもって生活ができますよう、議会の私たちも力を尽くしてまいります。

本誌、また議会へのご意見、ご感想をお寄せ下さい。

広報編集委員 山内